

# 若鷺の坂

〒681-0003 鳥取県岩美郡岩美町浦富707番地  
Tel 0857(72)0121(職員室) (73)1633(事務室)  
URL <http://www.torikyo.ed.jp/iwami-j/>



年の瀬を迎え、保護者、地域の皆様におかれましては日々慌ただしくお過ごしのことと存じます。受験に向かう3年生はもとより、1、2年生もよい形で新年を迎えられるよう、学校としても2学期の締めくくりをしっかりと行いたいと思っています。

さて、先月、大きな行事である文化祭を成功裏に終えることができましたが、その後も様々な行事や催しに岩美中生が参加して活躍しておりますので、今日はその中からいくつかを紹介します。

## 吹奏楽部 JA祭りといわみ音楽祭で演奏を披露



JA祭り



いわみ音楽祭

JA祭りは11月9日(土)に、いわみ音楽祭は翌10日(日)に開催されました。吹奏楽部は夏のコンクールで金賞に輝いたこともあり、今年の演奏には特に注目が集まったように思います。なお、3年生はいわみ音楽祭での演奏をもって部活動から引退となりました。

## 読書フォーラム 2019 in いわみ ビブリアバトル



ビブリアバトルとは書評合戦のことです。一人3分(正式な大会では5分)の持ち時間でおすすめの本を紹介し、質疑応答など聴衆とのやりとりがあった後、どれが一番読みたい本かを投票で決定します。毎年秋に開催される町の読書フォーラムで4年前から始まりましたが、11月24日(日)に開催された今年のフォーラムには本校から4人の3年生が出場しました。それぞれが持ち味を發揮した紹介ぶり、岩美中生はしっかりしているなあと多くの方からお褒めいただきました。大接戦でしたが、一番読みたい本に選ばれたのは、谷口健丈君が紹介した『15歳のテロリスト』(松村涼哉著)でした。



堀藍美さん



小谷晴太君



澤心愛さん



谷口健丈君

## 解放文化祭



11月半ばに2日間行われた町解放文化祭では、2日目の17日(日)に松岡未玲さん(3年;写真左)と山本志歩さん(2年;写真右)がそれぞれ人権作文を発表しました。松岡さんは「個性の認め合い」、山本さんは文化祭でも発表した「自らの手で」という題で日頃から考えていることをしっかりと述べました。また、茶道部は茶席を設けて来場者に振る舞いました。(右側の写真)



<校長室から> 本年度、本校では「総合的な学習の時間」を中心として各学年がキャリア教育（将来の就労を見据えてどのように生きるかを考える学習）に力を入れています。その際、キーワードとなるのが「志を立てる」ということです。自分の生活まわりのことだけを考えるのではなく、いかに他者と関わっていくかを15歳までに考  
**志を立てる〜キャリア教育の推進**  
 えさせるのです。この自分  
 思考過程においては、自分は将来何で勝負していくのか（自分の長所の認識）、学生の間どこを鍛えていけばよいのか（学習目標の明確化）といったことが求められてきますので、結局は自己確立に向けた学習ということになります。中学生の間にめざす職業を決めてしまうことは実際には難しいことですが、自分の将来を社会との関わりの中で考えることは中学生までに始めておく必要があります。そうしなければ、高校や大学を卒業して仕事に就くときに決断できなかつたり、「こんな仕事は面白くない」と言ってすぐに辞めたりしてしまうことにもなりかねません（もちろん、転職が人生でマイナスだということではありませんが）。キャリア教育はどのように生きるかを考える学習ですので、悩みながらの学習になるでしょうが、実は悩むことにこそ意義があります。学校としても人生を考えるためのヒント、材料を積極的に提供していきたいと考えています。

**1年生 ふるさと先生に学ぶ** 11月29日(金)実施



藤田道明氏  
(パラダイスパーク)



田中慎太郎氏  
(岩美幹部派出所)



谷口敏淳氏  
(医学博士、スクールカウンセラー)



**2年生 高校訪問** 11月20日(水)実施



校長先生自ら説明して下さる高校も何校もありました。写真には鳥取湖陵高校（上）

鳥取城北高校では校舎の屋上にも案内していただきました。

**全学年 教育講演会** 12月11日(水)実施

全国学習塾協会会長で、国や地方自治体の多くの委員も務められている安藤大作氏を三重県からお招きし、生き方を考えるというテーマでご講演いただきました。安藤氏は全国的にも著名な有識者であり教育実践者、また経営者ですが、ご自身が歩んでこられた道を生徒にお話しされながら、志を立てることや困難を乗り越えることへの示唆を与えてくださり、生徒は真剣なまなざしで聞き入っていました。

